

第3回 ICT連携部会が開催されました。



2020年1月27日 上越市で開催

第3回 ICT連携部会

上越地域における情報共有の標準連携ツールとしてMCネットを活用していただけるよう、委員4名と事務局3名、在宅医療推進センター2名が参加し、今年度の取組のまとめや今後の活用促進に向けた意見交換を行いました。

【上越市、妙高市内の事業所のMCネット加入状況（12月末現在）】

- 地域包括支援センターの加入率
91.7%（12事業所中 11事業所）
- 居宅介護支援事業所の加入率
69.0%（84事業所中 58事業所）
- 訪問看護事業所の加入率
92.9%（14事業所中 13事業所）

(1) 今年度の取組のまとめ

MCネットの活用促進と運用整備に向けて、以下の取組を行いました。

- ①MCネットの有効活用のため「MCネット活用塾」を5回開催し、44人に参加していただきました。塾では参加者が当部会で作成したシナリオを実際に打ち込むことで活用方法を体験していただきました。
- ②多職種連携の1つのツールとしてMCネットを積極的に活用していただけるよう、多職種連携推進・研修部会が開催している多職種連携研修会にてMCネットを紹介しました。

また、多職種連携研修フォローアップ研修会においてもMCネットの活用方法を紹介しました。

- ③セキュリティ対策としてMCネットの運用規定を整備しました。規定を必ず読んでいただけるよう加入申込書と一緒に運用規定を配るとともに、加入申込書の中に規定を読んだか確認する項目を設けていくことになりました。また、MCネット利用の手引も作成し、利用時のルールの徹底を図りました。
- ④引き続き「MCネットかわらばん」を発行するとともに、未加入事業所への声かけや各種研修会で加入や活用のPRを行いました。
- ⑤12月にMCネット加入事業所のうち、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、訪問看護事業所を対象にアンケートを行いました。アンケートではMCネットの活用状況や当部会の取組の内容、セキュリティ対策等について意見をいただきました。

(2) 次年度に向けた課題について

- 当初の目標であった介護事業所・医療機関の加入率100%には至りませんでした。3年間の取組により加入事業所は大幅に増えました。上越地域の標準連携ツールとなるよう、引き続き医療機関も未加入事業所に加入していただけるよう働きかけていく必要があります。
- 加入事業所数は増えていますが、1年以上利用した実績がないなど、活用していないユーザーもいます。活用に向けて働きかけていくとともに、実稼働登録者数の整理のために、退職者や法人内異動等における変更届の提出など、使用にあたってのルールの徹底を図っていく必要があります。

上越地域における情報共有の標準連携ツールとなるよう、上越地域在宅医療推進センターと力をあわせていきます。